

2022年4月30日 長和町 小茂ヶ谷岩峰群 L 谷内、野中、岩田

大門峠を越えて長和町に向かう途中右手にゴツゴツした岩峰群があり以前から気になっていた所へ偵察も兼ねて行ってきました。道標もほとんどなく踏み後も不明瞭で滑りやすく滑落の危険度も高い山域でしたがいろんな意味で楽しむことができました。

まずは仁王岩、鬼頭岩を目指すが入山口がわからないし、そもそも地形図上どこに位置する岩場なのかも不明。車でなんとか往復するも定かではなく広めの道路わきに駐車し大門川右岸に渡り川沿いにつけられた荒れた林道に行くがそれらしい当路は見当たらない。仕方なく枯葉に覆われ滑りやすい急登帯を詰め上げ尾根上 1278m 小ピークに出てみると薄いながらも踏み後あり。地形図上の破線ルートを目指し北に向かうと三角点のある 1263m 小ピークにつく。この先、破線ルートは沢状に入っているが踏み後全然なく登山路とはいえない状態でコンパスと GPS で確認しながらの下降となる。ぐるっと周回したあと車に戻り峠方向へと向かうと小さなプレートのつけられたそれらしき駐車スペースあり。しかしここも登路不明にて幾方向か偵察を行いようやく古びた赤ペンキ印に導かれ「仁王岩」のプレートあり。ようやく正解にたどりつけた感じ。残置ロープのある泥ルンゼを登り切った所から右手が仁王岩と呼ばれているよう。左方向に向かいしばらくで岩場を迎える。古びた残置ロープのあるガリー状が登路のよう。剥がれやすい凝集岩からなる岩壁であり慎重をきしロープ確保下に 40m くらいで肩に出ピッチを切る。次に岩稜上を 30m くらいで文字が消えてしまつて判読不能な小さなプレートがかけられた鬼頭岩山頂に着き握手をかわし登頂を祝す。大休止の後 40m の懸垂で取り付き付近に戻り足早に車へ。

次は仏岩と大王岩を目指す。ここはバス停の向かい側にしっかりとした案内板がたてられており道もそこそこ整備されている。途中、仏岩ルートから外れて大王岩方向へ向かい稜線に出てトラロープをたよりに大王岩と思しき岩塊のすそを巻くが登路わからず知らないうちに一周して仏岩ルートに出てしまいアルミハシゴ～3 段の赤いハシゴを登り仏岩頂上へ。確かに 360 度の眺望の得られる狭い山頂である。ハシゴを慎重に下り階段状に整備された登山路を下降。

大王岩の登路はどうなっているんだろうという疑問点は残ってしまったが鬼頭岩と仏岩を踏むことができたことを良しとして本日の偵察山行を終了とした。